

音楽と講演

平和憲法から現代を問う

— 軍事研究の現状 —

日時: 2021年3月7日(日)
午後2時から4時30分 (開場1時30分)

会場: ホルトホール大分 大ホール

入場料: 一般1000円 学生無料

講師: 芦名 定道 (京都大学文学研究科教授)

音楽: カテリーナ古楽器研究所

主催/宗教者9条の会・大分



芦名先生は、日本学術会議が推薦した会員候補の中で、菅首相が任命を拒否した6名の内のお1人です。



講師：芦名 定道

(京都大学文学研究科教授)

<プロフィール>

1956年、山形県新庄市生まれ。京都大学博士(文学) 現在、京都大学大学院文学研究科・教授(キリスト教学担当)

著書、『ティリッヒと現代宗教論』(1994年、北樹出版) 『自然神学再考』(2007年、晃洋書房)、『近代日本とキリスト教思想の可能性』(2016年、三恵社)、『現代神学の冒険 新しい海図を求めて』(2020年、新教出版社) など。



自然から音をつくる

音楽：カテリーナ古楽器研究所

1972年より松本公博が東京にて工房を開設。ヨーロッパ中世・ルネサンス期の古楽器復元・研究が始まる。チェンバロをはじめ、管弦打楽器を製作し古楽器の世界を旅してきた。国立民俗学博物館の調査員としてアジアの伝統音楽のフィールドワークを行うなど、世界の音楽、楽器の調査に積極的に関わりNHK BS TV/FM等で楽器の解説を行う。1991年、大分県に拠点を移し、2003年より親子二代で作る古楽器は、裾野を広げている。各地でワークショップ・展示・講演・コンサートを開催。2018年より2代目松本未来が主宰する。

LP「古楽の調べ」(CBSソニー)・著書「ようこそ手づくり楽器の世界へ」(TBSブリタニカ)・CD「中世巡礼物語」(CSF)・教材「音楽の基本ワーク」(新学者)

日時：2021 **3月7日** 日

会場：ホルトホール大分 大ホール
大分市金池南1-5-1 ☎097-576-7555

【入場料】

一般/1000円・学生/無料

【開場】午後1時30分

【開演】午後2時~4時30分まで

■会場ご案内図



※ホルトホールの駐車場はございますが、満車になる場合があります。公共交通機関をご利用頂くか、お近くの駐車場もご検討お願い致します。

主催/宗教者9条の会・大分 代表：林正道(真宗大谷派安養寺住職)

共催/憲法9条キャラバン 代表：岡村正淳(弁護士)

共催/平和のための戦争展 in 大分 代表：森川登美江(大分大学名誉教授)

お問い合わせ先/大分メノナイト・キリスト教会 牧師 佐々木淳二 TEL097-558-7861
浄土真宗本願寺派 長光寺住職 大在紀 携帯090-1873-0994

【コロナウイルス感染防止のためのお願い】ご来場の際にはマスクの着用をお願いします。入口に消毒液を設置していますので、手指の消毒をお願いします。お席は十分に確保しています。お隣の方と距離を取ってお座りください。